

令和元年（2019年）11月21日

第47回山形大学模擬裁判公演のお知らせ ～ 裁判員制度導入10年目 裁くことの重さを改めて考える ～

【本件のポイント】

- 人文社会科学部を中心とした学生の自主ゼミとして40年以上活動し、裁判所や検察などの協力のもと、企画や脚本、演出まで学生が担当しています。
- 今年のテーマは「求裁 -死刑を望んだ被告人-」、裁判員制度にも触れながら、「人を裁くことの重さ」を考えます。
- 1年生から3年生の学生約120人が参加し、1年がかりで作り上げる迫力の公演とその取り組みにご注目ください。



【概要】

山形大学模擬裁判実行委員会は、年に1度「模擬裁判」という裁判劇の公演を行い、研究成果を発表しています。47年目となる今年は、求刑や判決をテーマに『求裁 -死刑を望んだ被告人-』を公演します。また、2019年は裁判員制度導入から10年目を迎えた節目の年です。裁判員の役割や負担についてイメージが持ちにくいですが、少しでも身近に司法や制度のことを知ってもらえるよう、公演に取り込んでいることも今年の特徴です。

【模擬裁判とは】

山形大学模擬裁判実行委員会は、山形大学の1年生から3年生を中心に構成される学生の自主ゼミです。年に一度の模擬裁判という裁判劇の公演で研究成果を発表しています。裁判劇を市民の皆様に観ていただくことで、法律を身近に感じ、その時代が抱える社会問題について考えていただくきっかけを作ることを目的としています。

【今年のテーマは「求刑・判決」「裁判員制度」】

求刑や量刑など刑の重さに注目が集まりがちですが、動機や背景など多様な事情が判決の判断には考慮されています。目に見えるものだけで極刑を唱えていいのか、世論と判決の関係性に着目するとともに、今年導入10年目を迎えた裁判員制度にも触れることで、市民のみなさんに司法を身近に考えていただくきっかけを、劇を通してお届けしたいと考えています

【公演内容】『求裁 -死刑を望んだ被告人-』

日時：2019年11月29日(金) 18:00～、11月30日(土) 15:00～

場所：山形市民会館

料金：前売り券 250円／当日券 300円（高校生以下は無料）

チケット販売：山形大学生協／MINIPLA 山形七日町店／大沼山形本店

※本番に向けた最終リハーサルや準備など、以下の活動を公開させていただきます。

ご関心のある報道機関の皆様はぜひお越しください。

- 11月25日(月)、26日(火) 16:50～18:00 カストリハーサル【基盤教育3号館322教室】



※予告動画公開中です



お問い合わせ

山形大学模擬裁判実行委員会 委員長 小林優恭 (yuu0710165@docomo.ne.jp)